



学校便り
No. 9

万里一空

令和6年7月11日(木)

文責：池田 誠

夏休みまであと1週間となりました。子どもたちも長い休みを楽しみにしているのではないのでしょうか。ただ、長期休業前は事故発生率が高くなるという統計があります。熱中症や交通事故等に遭わないよう、安全や健康に留意して終業式まで過ごしてほしいと思います。

さて、ときおり保護者から、「夏休みはお昼ご飯を用意しないといけないから、早く終わってほしい。」とか、「教室にエアコンがついたので、夏休みはいらない。」等、夏休みに対してネガティブな声が聞かれます。しかし、子どもたちにとって非日常的な夏休みは、むしろ「成長のチャンス」と捉えていただきたいと思います。

夏休みを成長のチャンスとするために



夏休みは1か月余りの長期休業日です。だからこそ普段できないことに取り組めると考えます。よろしければ次のことに寄り添ってください。

① 夏休みに挑戦したいこと、克服したいこと、がんばりたいことを聞きましょう。

ただ単に、子どもに夏休みにしたいことを聞くと、「旅行に行きたい。」「海水浴やキャンプに行きたい。」「映画を観に行きたい。」「お祭りや花火大会に行きたい。」など、楽しさを優先した事柄が出てきます。それとは別に「**挑戦したいこと**」「**克服したいこと**」「**がんばりたいこと**」を聞いてみましょう。そうすることで、次のような返答が期待できます。

- 25m泳げるようになりたい。
- 苦手な漢字や計算をがんばりたい。
- 47都道府県を全部覚えたい。
- ローマ字をしっかり覚えたい。
- 料理をしたい。
- お菓子作りに挑戦したい。
- 生物の観察をしたい。
- 花を育てたい。
- 星を観察したい。
- 1人でキャンプに参加してみたい。
- 自由研究をがんばりたい。
- 本をたくさん読みたい。長編の本を読み上げたい。
- 絵を描きたい。
- 家にある材料で工作したい。
- 1000ピースのパズルに挑戦したい。
- 地域の行事に参加したい。
- お手伝いをがんばりたい。(家事を1つ任せられたい。)
- 公民館、博物館等の体験教室に参加したい。
- ボランティアをしてみたい。

夏休みは、たっぷりと時間があるので「苦手なことの克服」や「興味・関心があることへの挑戦」、「家族や親族、地域との交流」など、満足感だけではなく、達成感や成就感を味わうことができる活動に取り組みさせることで、子どもの成長を促せるチャンスとなります。

② 夏休みにしなくてはいけないことも聞きましょう。(宿題等)

夏休み前に、各学年から「夏休みのくらし」が配付されます。その中に「夏休みの課題(宿題)」が載っていますので、必ず確認をお願いします。そのうえで、お子さんに課題を尋ねることで共通認識ができると思います。(夏休みの作品募集一覧も紙で配付されますが、学校ホームページにも掲載する予定です。)

③ 目標やスケジュールを一緒に立てましょう。

①と②を確認したら、お子さんと一緒に夏休みの目標やスケジュールを立ててください。(学校で立てている場合は確認をお願いします。)夏休みの計画を立てるときは、「無理をしない」ことが大切です。子どもたちは、多く内容を盛り込み、計画倒れに終わる心配があります。無理のない量や内容で取り組むことで、達成感や満足感を味わうことができるようにしましょう。学校から出される課題に対しては、ドリル集等のページ数を夏休みの日数で割って、「1日に○ページすると、大丈夫だね。」という見通しを持たせることも大切です。

④ 達成できたこと、努力の過程を褒めよう。

お子さんが夏休みに達成したこと、達成できなくても努力したことは、大いに褒めてあげてください。そのことが子どもの自己肯定感や自己有用感を高めます。また、2学期に向けてがんばろうという意欲も高まります。

子どもは学校だけでは成長しません。家庭や地域で、知らないことを知ったり、初めてのことに挑戦したりする体験活動を通して、他（人や物、事）と適切に交流しながら大きく成長していきます。

そんな夏休みになることを切に願っています。

夏休みに気をつけてほしいこと



夏休みは自由な時間が多いため、どうしても気が緩みがちになります。生活面・健康面・安全面で気をつけていただきたいことを挙げていきます。

【生活面】

- 不規則な生活になりがちです。夜型の生活に陥ってしまうと、2学期の登校渋りの原因にもなります。そうならないためにも、子どもの1日のスケジュールを把握し、「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底をお願いします。
- 友達と遊ぶことは良いことですが、金品の貸し借りや誰もいない家に遊びに行かないよう注意してください。

【健康面】

- 冷房が効いた部屋から急に暑い屋外に出ると、熱中症の危険性が高まります。外出時は必ず帽子、水筒を持って行くことやこまめに水分を取ったり、日陰で過ごしたりすることなど、熱中症予防についてお子さんと話し合いをお願いします。
- 長時間のテレビ（動画）視聴やゲーム（スマホやタブレット）は視力の低下を招くばかりか、ゲーム依存の危険性もあります。家庭でのルール作りを行うなど、メディアコントロールをお願いします。

【安全面】

- 事件や事故に巻き込まれないよう、帰宅時間を把握し、守らせてください。
- インターネットに接続できる機器を持っているお子さんに関しては、興味本位で送ったメールやLINE、動画のアップロード等がきっかけで、思いがけないトラブルに巻き込まれてしまうことがあります。家庭でのルール作りや管理をお願いします。なお、学校から配付されているタブレットは学習のみの使用となっています。
- 子どもだけで家にいるときの電話や訪問者に対する対応について話し合わせてください。（例：知らない人からの電話にはでない。知らない訪問者には対応しないなど。）

お子さんが安全で健康的な夏休みが過ごせますよう、学校から配付される「夏休みのくらし」を必ずご確認ください。